

【注意】発行当時の原稿をそのまま掲載しております。農薬について記載のある場合は、最新の農薬登録内容を確認し、それに基づいて農薬を使用してください。また、成果情報によっては、その後変更・廃止されたものがありますのでご注意ください。

[成果情報名] ペレニアルライグラス「ヤツカゼⅡ」の品種特性

[要 約] 「ヤツカゼⅡ」は有望品種「ヤツカゼ」より秋の被度が高く、永続性に優れている。越冬性、越夏性及び年間収量は「ヤツカゼ」と同程度であるが、再生草勢はやや優れている。

[部 署] 山形県農業総合研究センター 畜産試験場・草地環境科

[連絡先] TEL 0233-23-8817

[成果区分] 普

[キーワード] ペレニアルライグラス、放牧条件、ヤツカゼⅡ

[背景・ねらい]

ペレニアルライグラス中生「ヤツカゼⅡ」の本県における放牧条件下での適応性を把握する。

[成果の内容・特徴]

「ヤツカゼⅡ」の特性は下記のとおりである。

1. 収量性は本県の有望品種である「ヤツカゼ」と同程度である(図 1)。
2. 再生草勢は「ヤツカゼ」よりもやや優れている傾向にある。(表 1)。
3. 越冬性及び越夏性は「ヤツカゼ」と同程度であるが、秋の被度が高いことから、永続性に優れている。(表 2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 放牧利用で有効活用できる。

[具体的なデータ]

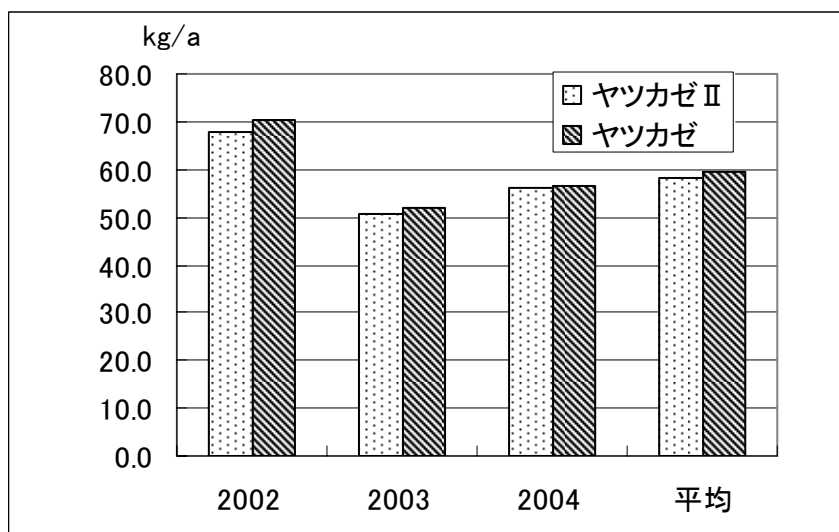


図 1 乾物収量

表1 再生草勢

調査年	2002	2003	2004	平均
ヤツカゼⅡ	7.5	7.5	6.5	7.2
ヤツカゼ	6.9	6.9	5.7	6.5

注) 再生草勢：極良を9、極不良を1とする9段階評価法による評価値

表2 生育調査

調査項目	越冬性*	越夏性*	秋の草勢*	秋の被度(%)
ヤツカゼⅡ	7.7	7.3	6.8	41.8 ^a
ヤツカゼ	7.5	6.8	6.8	36.1 ^b

注1)*：極良を9、極不良を1とする9段階評価法による評価値

注2) a~b間に有意差あり(P<0.01)。

[その他]

研究課題名：飼料作物系統適応性検定試験（ペレニアルライグラス）

予算区分：受託

研究期間：平成18年度（平成13～16年度）

研究担当者：石黒明裕

発表論文等：